

コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

1928 年に生まれたハンガリーの経済学者コルナイの自伝。
第二次大戦後の社会主義計画経済から現在までのライフヒストリー。

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—— 思索する力を得て

コルナイ・ヤーノシュ【著】
盛田常夫【訳】



コルナイ・ヤーノシュ自伝
Kornai János【著】 / Morita Tsunao 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！

◆定価 4935 円 (税込)

◆A5判 / ISBN 4-535-55473-0

目次	第1章 家族、青年時代 (1928年~1944年)	第12章 模索と準備 (1971年~1976年)
	第2章 共産主義者になる (1945年~1947年)	第13章 全体像の完成 (1976年~1980年)
	第3章 「自由な人民」編集局時代 (1947年~1955年)	第14章 突破 (1979年)
	第4章 覚醒の始まり (1953年~1955年)	第15章 友情溢れる批評と距離を置く批判 (1968年~1989年)
	第5章 研究生活の始まり (1955~1956年10月23日)	第16章 ハーヴァード (1984年~2002年)
	第6章 革命とその帰結 (1956年10月23日~1959年)	第17章 ハンガリーの内と外 (1985年~)
	第7章 私の大学 (1957年~1959年)	第18章 統合 (1988年~1993年)
	第8章 経済学への数学的手法の適用 (1957年~1968年)	第19章 運命の転換 (1989年~1992年)
	第9章 西側への旅行 (1963年~)	第20章 学問と政治の境界領域 (1990年~)
	第10章 価格に挑む (1967年~1970年)	第21章 ただ持続あるのみ (1990年~)
	第11章 研究所、大学、アカデミー (1967年~)	